

●暑い夏が過ぎ、秋が近づいています。

暑さも落ち着き、散策しやすい季節になってきました。公園には少しずつ秋の足音が聞こえてきます。

●秋の風物詩「ススキ」もいろいろ

●お月見のお供えとしてもお馴染みのススキは、秋の風物詩ですね。公園南側の「①ススキの小径」は、広報古河でも度々紹介しているこの時期のおすすりめスポット。同じススキでも、葉の縞模様が特徴的な「②タカノハススキ」は園芸種のススキで、その模様から英名は「Zebra Grass ゼブラグラス（シマウマ草）」と言います。同じ縞模様でも日本では鷹の羽、英語圏ではシマウマに見立てているのも面白いですね。



①ススキの小径



②タカノハススキ



【野草紹介】「A. キクイモ」は、菊に似た黄色の花に、塊茎（球状の地下茎）を付け、現在でも食用に利用されています。



A. キクイモ



●これも、あれも、ススキ？

●管理棟のすぐ西側、御所沼の角にある「③マツカサススキ」。名前にススキと付きますが、同じイネ科でもススキ属ではなく、アブラガヤ属の植物です。ススキの穂とは異なり、松笠（松ぼっくり）に似た小さな小穂の集まりを付けることが名前の由来となっています。公園にはこの1箇所しかなく、全国的にも減少傾向にある希少種です。



③マツカサススキ

●コスモス畑にそびえる「④シロガネヨシ」は、別名西洋ススキやおばけススキとも呼ばれ、草丈は2-3mほどになります。英名の「パンパスグラス」は、原産地である南米の草原地帯「パンパ」の草という意味です。



④シロガネヨシ



B. カツラ

一足早く黄色に黄葉する「B. カツラ」は駐車場ほか園内に。みたらしのよな、甘じょっぱい香りも楽しんでください。

●こちらも秋の代表「コスモス」

●秋の花の代表「コスモス」は、もともとキク科コスモス属の総称ですが、代表的な品種である「④オオハルシャギク」を一般的にコスモスと呼びます。歌にもあるように、色は薄紅がきれいですね。またこの④エリアには、コキアもたくさんありますので、紅葉が楽しみです。

●民家園には黄色の「⑥キバナコスモス」が目に見えやすいです。オオハルシャギクよりも暑さに強く、開花も若干早いため、より長い期間楽しめます。



④オオハルシャギク (コスモス)



⑥キバナコスモス



⑤コルチカム

●ひょっこり顔出すコルチカム

●ジェラテリア西側の丘やおみたらせの清水沿いに咲く「⑥コルチカム」。球根植物なので、休眠期間は葉が枯れてしましますが、9月中旬の花期になると、ひょっこりと顔を出します。花期には葉がなく、花が終わってから葉が出てきます。



●台風被害が出ています...

先日の台風通過にともない、公園でも被害が出ました。中でもハナモモは200本以上に傾きや倒木がありましたが、幸い数本を除いて起こすことができました。その他、今回ご紹介したコスモス等も倒れている場合がありますので、ご了承ください。

●特に暑かった今年の夏。疲れが出るこの季節は、秋の公園散策でリフレッシュしましょう！

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園 検索